

## 8 政治活動の取り組み

昨年10月22日に第48回衆議院議員選挙の投票が行われ、自民党が単独で284議席を得て圧勝、公明党と合わせ3分2を超える議席を確保するという極めて厳しい結果となり、安倍政権の1強体制を崩すに至りませんでした。その一因は、私たちが支援していた民進党が事実上の解党になり、野党の混乱で一強政治に對峙する理念、政策が示されなかったことが、与党圧勝の主因であり、国民目線に立った政策を示し、与党の対抗軸として国民から信頼を得られる政党の基盤の構築が求められています。

今後、政府・与党は数の力で、国会・国民軽視を続けてきた安倍政権が次々と政策を打ち出すことは必至であり、確固たる民主主義の実現には巨大与党に對峙できる健全な野党勢力が必要です。新たな政治勢力がどのような党運営・国会対応をはかっているのか、引き続き慎重に見極めていく必要があります。今後も政権交代可能な二大政党体制の構築をめざし、組織内議員・推薦議員との連携を深めつつ、広く社会から共感を得られる政治活動・労働運動に取り組み、働く者・生活者の立場に立った政策実現をめざしていきます。その上でJR西労組は、政局の動向とは距離を置き、特定の政党を支援していくのではなく、連合、JR連合の方針を踏まえ、たうえで、JR西労組の運動方針等に賛同する政治家個人を支援するの考えに立ち、あらためて私たちが政治との関わりや重要性を訴え、日常的に政治活動へ

の理解を広げるべく、政治への参画の大切さを引き続き提起し、活動を強化していきます。

さらにJR産業界として抱える政策課題の解決に向けては、とりわけ人口減少局面の中でいかに持続可能な公共交通体系を構築し、交通運輸産業の活性化、地域との共生など、交通政策基本法を軸とした取り組みがいつそう求められています。私たちの政策課題の実現のために、引き続きJR西労組地方議員団会議、JR連合国会議員懇談会、および21世紀の鉄道を考える議員フォーラムとの連携を強化しなければなりません。

なお、我々が支援し当選をはたした泉健太議員（京都3区）が、現在空席となっているJR連合国会議員懇談会の副会長となること、JR連合において確認されています。

今年度は、総社市や長岡京市議会議員選挙がすでに実施されており、3月以降は地方議員団会議の会員のうち4名の選挙があります。その中でも2003年の初当選から4期にわたり衆議院議員として活動し、その間に国土交通大臣政務官や副大臣を歴任し、交通政策基本法の法案策定に取り組み、民主党政調幹事長兼国会対策委員長代理を経て、2014年5月に滋賀県知事選挙立候補のため議員辞職し、見事に当選を果たした三日月大造滋賀県知事が、風で止まらない湖西線への対策、草津線の利便性向上など地域の公共交通はもとより滋賀県政に尽力をつくしてきました。7月に任期満了のため知事選挙が実施されます。

関係地本を主体に、三日月知事をはじめ4名全員が当選に向けて全力をあげて支援活動に取り組むこととします。

### 1 JR西労組の政治方針

JR西労組は、連合が目指す「働くことを軸とする安心社会」を実現するために、政局の動向とは距離を置き、連合、JR連合の方針を踏まえ、たうえで、「JR西労組の政治方針」に基づき組織と組合

〔2018年改選を迎える議員団所属議員〕

関係地本	候補者名	県市町村	改選期
金沢地本	藤本 悟	美浜町議会	2018年3月
岡山地本	大西 洋平	浅口市議会	2018年4月
米子地本	中田 利幸	米子市議会	2018年6月
京都市地本	三日月大造	滋賀県知事	2018年7月

員の利益を最優先し、主体性を持って判断して対応します。

### 《JR西労組の政治方針》

#### (1) 基本方針

私たちの運動の理念・政策・目的などに理解を示し、支持・賛同する議員との関係を強化し、政治的課題の解決にむけて取り組みます。

#### (2) 政治活動の考え方

政治活動は「非自民、反共産」を原則として、連合、JR連合の政治路線を基本に取り組みすることとします。

議員および政党との繋がりは、政治的課題の解決を目的として、JR西労組の綱領、運動方針、政策課題に理解を示し、支持・賛同する者との協力関係を強化します。

#### (3) 国政選挙への対応の考え方

① JR西労組の政治の基本方針、当面する政治活動の考え方を前提に、取り組みを進めます。

② 選挙活動は、組織内において混乱を生じさせないことを最優先し、組織の団結とJR西労組の発展を第一義に取り組みます。次いで、推薦候補の基本方針を重視することとします。

③ 「政治対策委員会」を継続して設置し具体的対応を協議しながら取り組みを進めます。

#### (4) 推薦候補の基本方針

・連合、JR連合の推薦候補とします。  
・過去の経緯を尊重しつつ、JR西労組の綱領・運動方針に賛同する政治家個人を推薦します。  
・JR西労組の方針に基づき、地方本部が推薦する候補者は、中央執行委員会で組織としての推薦を決定します。

・労働組合を否定する政党は推薦しないこととします。

④ 地方選挙推薦候補の基本方針

① JR西労組議員団会議の会員が立候補する場合は、組織内公認候補として選挙闘争を進めます。

② 会員以外の立候補者の推薦・支持は、地方本部・支部の決定に基づきます。

## 2 JR西労組議員団会議との連携

私たちの政策実現のために、議員団会議の組織内議員はもとより、推薦議員を含めて全員当選に向けて、関係地本を中心に、①各級機関との連携、②組合員・家族への周知徹底、③地方連合会等との連携、④推薦候補者との連携や違反防止を含め、万全を期して取り組みます。このほか、最近の投票率の低下を受け止め、期日前投票を含め、組合員・家族などへの投票促進の取り組み等にも全力をあげて取り組みます。なお会員以外の立候補者の推薦・支持は、地方本部・支部の決定に基づきます。

また、JR西労組地方議員団会議は1992年5月に結成され、当初63名の会員が結集していましたが、改選期の不出馬等により現在は16名の会員となっており、新たな議員の発掘も課題となっています。昨年の第25回総会において、12年間議長を務めた福岡裕隆議員から、新たに中田利幸議員に議長が交代し、政治活動の重要性の理解、浸透に努めながら、志のある組合員の啓発、支援を強化し、議員団の世代交代と拡大に努めるとともに、今年度の労働協約改訂において、公職休職中の社員も進級試験受験対象になったほか、公職休職中の期間を永年勤続者表彰の対象期間として通算することになり、処遇面で非常に立ち遅れた制度になっていたものが、一歩前進しました。組合員が意欲を持って地方議員に立候補できる環境づくりへ、より一層会社制度の改善も求めていくこととします。

今後も、地域に根ざした鉄道業、バス事業に従事する私たちにとって、地方政治は密接かつ大切な役割を担っています。北陸新幹線の「小浜・京都ルート」決定後の財源の問題や並行在来線の課題を含め、地域との共生、地域活性化の取り組みについては、自治体や住民との連携が不可欠です。

引き続き、JR西労組議員団会議と連携して取り組みを進めることとします。

また、3月に改選を迎える藤本悟議員が美浜町議

会議員選挙をはじめ、7月には三日月大造滋賀県知事も改選を迎えることから、JR西労組議員団会議所属議員との対話を深める取り組みを実施するなど、全ての組合員が、政治と自分たちの暮らしや仕事との関わりを意識することができるよう取り組みを行います。

私たちの政策課題実現の為、連携して全力で取り組むこととします。これに先立ち、9月には総社市議会議員選挙で小西義己議員が3期目、10月には長岡京市議会選挙では大伴雅章議員が4期目当選と見事当選を果たしました。

### 3 政治団体「交通政策をすすめる会」の加入促進

「JRみかづき会」の解散を受け、2015年2月に新たな政治団体「交通政策をすすめる会」を設立しました。設立初年度は、当面の加入目標として、70%を目標に組合員への理解促進と加入行動を展開してきました。しかしながら、現在の加入状況は、2割程度にとどまっています。現在は、改選期を迎えるJR西労組議員団会議所属議員の支援を行っているのですが、当面する70%を目標に、今後も、各地本・総支部と連携を深め、政治への関わり的重要性など組合員への理解を広げながら、加入行動を強化することとします。

また、交通政策をすすめる会への加入促進を図るため、交通政策をすすめる会リーフレットを活用し、加入促進を図る取り組みを展開します。



## 9 福祉対策活動の取り組み

第29回大会以降、組合員相互扶助の精神に則り、「交通共済」「家族支援共済」をJR西労組の主たる共済と位置付け、組合員と家族の福祉の増進をめざして取り組みを進めてきました。具体的には、共済の加入促進や、事象発生時の連絡・申請および迅速な給付など、各級機関の力強い取り組みにより、世話役活動の柱として大きな成果を収めることができました。とくに家族支援共済については、年間取り組み目標を大きく上回る950名の加入を果たす

ことができました。各級機関役員の皆さんにあらためて感謝を申し上げます。

また、昨年は7月に九州北部（福岡・大分）豪雨、また台風18号や台風21号などの大型台風が幾度なく日本列島に上陸し、各地で甚大な被害をもたらしました。この状況を鑑みて、万一の災害に備えた火災共済・地震風水害共済の一層の加入促進が重要となつていきます。

新規採用者については、今年も総合共済および

